第１回日本脳脊髄液漏出症学会 学術集会

テーマ「硬膜穿刺後頭痛と特発性低髄液圧症候群」

脳脊髄液漏出を紐解く

学術集会開催概要

会期：２０２２年（令和４年）４月１６日（土）・１７日（日）

会場：姫路市文化コンベンションセンター　アクリエひめじ　４階中会議室４０１～４０３

　　　姫路市神屋町１４３－２　（JR姫路駅より徒歩約１０分）

　　　WEB同時配信・ハイブリッド形式　（演題発表は会場・WEBとも可能）

参加対象者：日本脳脊髄液漏出症学会 正・準会員。

参加申し込み：当日会場参加受付は可能ですが、原則として事前参加登録をお願いいたします。

　　　　　　　WEB参加は事前参加登録のみ（４月１０日までのお申込みの予定）。

別紙参加登録用紙（word版）をご記入の上、事務局へE-mailまたはFAXにてご登録ください。

参加費：５,０００円：1日のみの参加・WEB参加も同額。

参加費支払い方法：

会場参加の場合、会場にて現金、又はカード決済でのお支払い。

WEB参加の場合、銀行口座お振り込み、又はカード決済でのお支払い。

WEB参加の場合、参加登録受付後（４月１０日分までの予定）、ご案内をメールにて送付予定。

演題募集

テーマに関する演題、および脳脊髄液漏出症・減少症に関するあらゆる演題を募集します。

関連のない演題についてはお断りします。

筆頭演者は、日本脳脊髄液漏出症学会 正・準会員に限ります。

募集期間：２０２１年１２月２０日〜２０２２年２月１４日（予定）

添付の演題申込書（word版）に演題名・所属・抄録（800字程度以内）等をご記入の上、

学術集会事務局（[jscsfl-2022@meimai-c-hp.com](mailto:jscsfl-2022@meimai-c-hp.com)）宛にメール添付にてお申し込み下さい。

詳細は一般演題申込書をご確認下さい。

事務局：明舞中央病院脳神経外科 内

　　　　明石市松が丘４－１－３２

　　　　TEL：078-917-2020（病院代表）、FAX：078-914-1877（病院代表）

　　　　E-mail：[jscsfl-2022@meimai-c-hp.com](mailto:jscsfl-2022@meimai-c-hp.com)（メイン）、 jscsfl.2022@gmail.com（サブ）

市民講座開催予定（２０２２年４月１６・１７日学術集会終了後）

一般の方の会場参加・WEB参加可能。内容詳細は後日公開します。

**第１回日本脳脊髄液漏出症学会学術集会 演題申込書**

送付先E-mail: [jscsfl-2022@meimai-c-hp.com](mailto:jscsfl-2022@meimai-c-hp.com)

※メールの件名は**「第1回日本脳脊髄液漏出症学会学術集会　演題申込　氏名」**として下さい。

※書体はMS明朝、MSP明朝、Century、Times New Romanとし、太字などは使用しないで下さい。

※利益相反に関して申告の必要がある場合は、自己申告書を別途学会本部事務局にご提出下さい。

**演題の採否・日時などを通知するご連絡先（メールにて通知させていただきます）**

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| ふりがな |  |
| 所属 |  |
| TEL |  |
| E-mail |  |

**■演題を登録いただくにあたり、次の承諾を全て得ている必要があります。**

・発表する研究内容および症例報告については、所属施設の倫理規定に準拠している。

・人を対象とした前向き研究では、個々の対象から書面による承諾を得ている。

・症例報告でも患者またはその家族から承諾を得ている、もしくは所属施設の承認を得ている。

**■上記の承諾を得ていますか？（必須）** (下にチェックを入れて下さい)

**※チェックがない演題は採用できませんのでご注意ください。**

倫理規範に抵触しない発表（施設紹介等）については上記規定に該当しないため、演題申込書の承認を「□得た、□得ていない、□該当しない」のうち、「□該当しない」にチェックして下さい。

**得ている　　　　　 得ていない 　　　 該当しない**

**■発表方法　　　　　 会場　　 　 WEB**

**演題名（５０文字以内）**

|  |
| --- |
| 記入例）脳脊髄液漏出症を疑われ紹介となった○○の1症例 |

**※演題に関する問合せの際に必要ですので、演題名は抄録本文と両方にご記入下さい。**

**抄録本文（８００文字以内）：演題名・演者・所属・800字以内の抄録本文の順で記述して下さい。**

**※演題名・演者・所属・800字以内の抄録本文の順で記述して下さい。（図表不可）**

|  |
| --- |
| **（記入例）：消去してご記入ください。**  【演題名】  脳脊髄液漏出症を疑われ紹介となった○○の1症例  【演者】**筆頭演者に下線をお願いいたします。**  石川慎一1)、高野昌平2)、○○○○1)、○○○○1)、○○○○1)  【所属】  姫路赤十字病院　麻酔科1)、脳神経外科2)  【抄録本文】**（７３５字/８００字）文字数もご記入ください**  (緒言)○○は頭痛と○○などを来す疾患である。脳脊髄液漏出症を疑われ紹介となった○○の1症例を報告する。  (症例)症例は10代女性、身長○○㎝、体重○○.○㎏。○○ほど生来元気であった。1か月前より○○が、2週前より頭痛が出現した。○○出現○○後より登校困難となった。近医受診し脳脊髄液漏出症が疑われ、当院○○紹介となった。○○を示したが、それ以外特記すべき所見はなかった。起立性障害と診断されたが○○の反応乏しく、脳神経外科での○○後に当科紹介となった。  　頭痛は、○○の痛みで、体位性の変化を示さないが○○は困難であった（VAS ○○/100）。頭痛のため○○はほとんど寝たきりであった。全脊椎MRIでは○○であったが、○○の希望により○○を行った。CT脊髄造影でも漏出を示さなかったが、○○を示したため○○を疑い，脳神経外科に逆紹介した。○○検査では○○を示していた。○○を2回行い、○○の投与にて○○は低下しつつある。  （考察）○○の有病率は○○/10万人であり、脳脊髄液漏出症の○○/10万人よりもまれである。○○に多いといわれている。症状は、頭痛、○○、嘔気などである。国際頭痛分類では、○○が診断基準の一つである。  （結語）○○の1症例を経験した。起立性障害や脳脊髄液漏出症と鑑別を要し、○○と○○が診断に有用であった。 |

**※書体はMS明朝、MSP明朝、Century、Times New Romanとし、太字などは使用しないで下さい。**